

中国における林業の持続可能な発展政策

中国の林業の持続可能な発展政策には、林業財産権政策、林業税制、林業投資政策、生態系補償政策などが含まれ、林業資源の合理的利用と保護を促進し、森林の生態機能を高め、林業経済の健全な発展を促進することを目的としている。

(1) 林業財産権政策

集団林権制度改革を深化させることで、林地使用权と林木所有権の明確化、経営権の自由化、林業農家の合法的權益の保障を図り、林業を活発化しようとするものである。これには、「集団林権制度改革深化に関する意見」などの一連の政策文書が含まれる。

林権の移転を奨励し、林業資源の最適化配置と利用効率向上を推進する。そのため、「林権移転の指導と規制に関する指導意見」などの政策が打ち出されている。

(2) 林業税制

林業経営コストを削減し、林業を奨励するため、林業生産に従事する事業者や個人に対して、税金や手数料の減免政策が実施されている。例えば、林産物加工企業や林下経済（木材以外の森林活用）事業に対し、増値税（付加価値税）や企業所得税などの優遇措置が与えられている。また、森林保険に加入する事業者や個人にも税制優遇措置が与えられる。これは、森林保険加入を促し、森林災害のリスクを軽減するためでもある。

(3) 林業投資政策

国家財政、地方財政、民間資金など複数のルートを通じて、林業への投資を拡大し、林業インフラ整備、森林資源育成、森林生態系修復などのプロジェクトを支援する。例えば、「林業・草原改革発展資金管理弁法」などの政策を実施する。

金融機関による林業向け融資拡大、林業ローンや林業保険などの金融商品導入を奨励する。これは、林業の資金調達コストを削減し、資金を獲得しやすくするためである。

(4) 生態系補償政策

森林保護と生態系修復を促すため、生態系サービスを提供する森林に対して経済的補償を与える。具体的政策としては、「森林の生態学的効果に対する補償制度の改善に関する意見」や「自然林保護・修復制度に関する方案」など。

生態レッドラインエリア内の森林資源に経済的補償を行い、そのエリアの生態環境を保護・回復する。

(5) その他の政策

① 林権制度改革

集団林権制度改革の深化、林権の明確化、経営権の自由化、処分権の実施、収益権の保障、林業の活性化、林業農家の所得向上など。

② 持続可能な森林経営

森林の持続可能な経営を促進し、森林の質を高め、森林の生態学的サービス機能を強化し、森林資源の合理的な利用と保護など。

③ 木材資源管理と木材産業の発展

木材資源の合理的利用、国の木材安全保障、木材産業の発展と競争力向上、世界の木材市場の変化への対応など。

④ 林業の科学・技術イノベーション

林業における科学技術のイノベーションとレベルアップ、研究成果の商用化と活用、林業の情報化、インテリジェント化のレベルアップなど。